



平成 30 年度第 2 回 総合教育会議

日時 2018年10月17日(水) 午後1時00分

場所 本庁舎3階 会議室3-3

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 議事録署名人の決定
- 4 議事
 - (1) 学校における働き方改革について
 - (2) その他
- 5 閉会

出席者名簿（敬称略）

教育長	平 岩 多 恵 子
教育委員会委員	飯 島 広 美
	中 林 奈 美 子
	大 津 邦 彦
	木 原 明 子
市 長	鈴 木 恒 夫

関係職員	教育次長	神 原 勇 人
	教育部長	村 上 孝 行
	教育総務課長	佐 藤 繁
	教育指導課長	窪 島 義 浩
	学務保健課課長補佐	野 口 美 江 子

事務局	企画政策部長	関 口 隆 峰
	企画政策課長	佐 保 田 俊 英
	企画政策課主幹	川 口 浩 平
	企画政策課主幹	諏 訪 間 光

平成30年度第2回総合教育会議席次



諏訪間主幹	川口主幹	佐保田参事	関口部長
-------	------	-------	------

(事務局)

プロジェクター	講師	飯島委員	中林委員	鈴木市長
				平岩教育長
		木原委員	大津委員	

野口課長補佐	窪島課長	佐藤参事	村上部長	神原次長
--------	------	------	------	------

(関係部課)

| 出入り口 |

本気で進める学校の働き方改革と 教育委員会の役割



2018年10月17日

妹尾 昌俊

教育研究家、学校マネジメントコンサルタント
文部科学省 学校業務改善アドバイザー
中教審「学校における働き方改革特別部会」委員
NPO法人まちと学校のみらい 理事

senoom879@gmail.com

<http://senoom.hateblo.jp>

自己紹介 妹尾 昌俊

- 徳島県出身(いなかの公立小中高で育つ)、神奈川県逗子市在住。
趣味は歴史もの(戦国うんちく、旅、ゲーム)、海でSUP
- 4人の子持ち、育児・教育には日々修行中の身です。
- 学校づくり、学校マネジメントはライフワークのひとつ。
 - 前職の野村総合研究所では、学校評価や組織マネジメント、地域とともにある学校づくり(コミュニティスクール等)について全国調査。2016年7月から独立、“元気な学校づくり、地域づくりを伴走し広げる”をミッションに、教職員向け研修やコンサル、学校改善、業務改善支援などを行っています。
- 学校業務改善アドバイザー(文科省、埼玉県、横浜市ほか)、中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員、スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議」委員、文化庁・部活動ガイドライン委員
- 学校事務職員等を応援する「未来への風プロジェクト」(詳しくはウェブとFacebook)を運営中！
- たまにブログ更新。オンラインゼミ(勉強会サロン)も開催中。よかったらFacebook、Twitter(妹尾昌俊で検索)も気軽にメッセージお願いします。



← New!



ある小学校の風景

ここから何が見える？



教職員定数(国の標準)の決め方は今のままでいいのか？

- 基本的には学級数に応じて国の標準が決まる。
⇒ 1人の教員がどのくらい授業をもつとか、どのくらい労働時間がかかるか等は、一切考慮されない。
- 小学校では学級担任制を前提としているので(教科担任制ではないので)、中高と比べて、著しく教員数が少ない算定式。
⇒ 道徳、英語も増え、9教科、10教科も教えるなんて無理ゲー？

○校長定数 学校数×1人
○教頭及び教諭等定数
①学級数に応じて、必要となる学級担任、教科担任の教員数を考慮して、学校規模ごとに学級数に乗ずる率を設定。例えば、3学級の中学校には9人の教員(校長を含む。)が配置できるよう計数を設定している。

(乗ずる率の例)

小学校		中学校	
1学級及び2学級の学校の学級総数	× 1.000	1学級の学校の学級総数	× 4.000
3学級及び4学級の学校の学級総数	× 1.250	2学級の学校の学級総数	× 3.000
5学級の学校の学級総数	× 1.200	3学級の学校の学級総数	× 2.667
6学級の学校の学級総数	× 1.292	4学級の学校の学級総数	× 2.000
⋮		5学級の学校の学級総数	× 1.660
		6学級の学校の学級総数	× 1.750
		⋮	

**国や教育委員会(県、市町村)がやらないといけないことも多い。
だが、だからといって、学校は現状維持、働き方改革に無風でよいのか？**

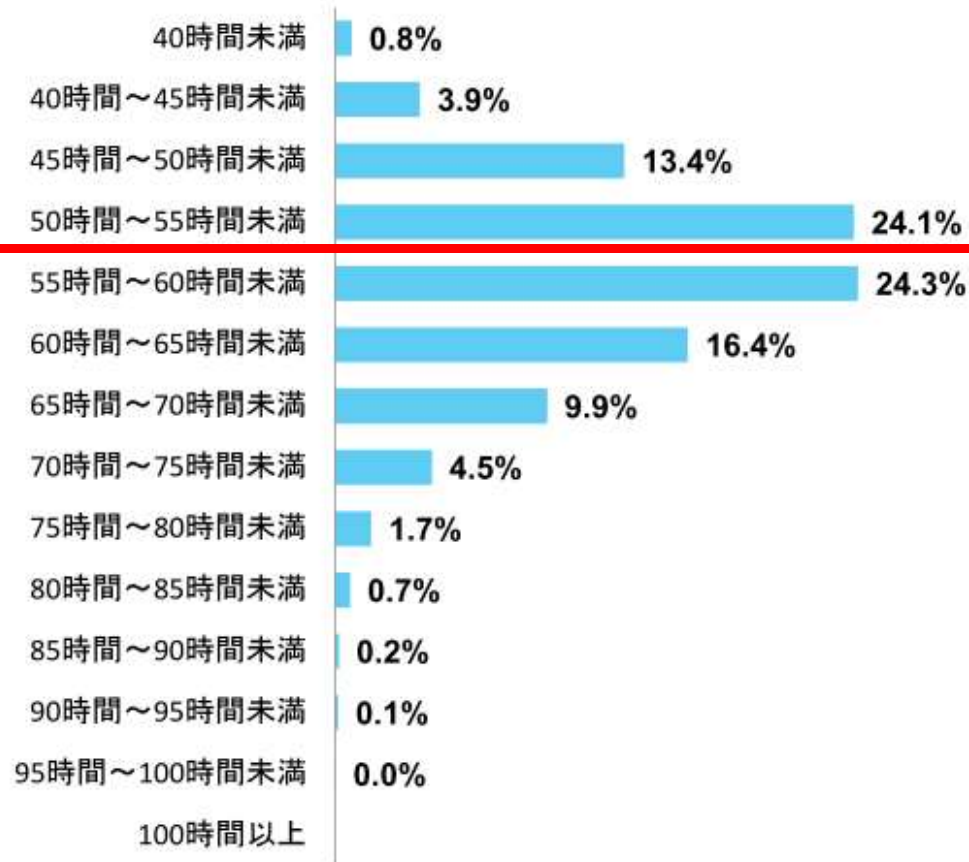
財政制度分科会(平成29年10月31日開催)での財務省の文部科学担当主計官の発言

こういった出退勤の時間管理ができていないということは、先生それぞれの仕事、業務を管理できていないのではないかという問題提起であります。そこをきちんと把握して、先生それぞれに忙しい人、余裕がある人という差があるのであれば、そういったところの平準化を図るなり、業務の適正化をすべきではないのかという問題提起であります。

週2日以上、休養日を設定することが適切と文部科学省は言っているわけではありますが、円グラフを見ていただきますと、設けていないとか、週1日しかないといったところが太宗でありますので、こうした部活動の量的な見直し、総量規制も含めた部活動のあり方の見直しが必要ではないかという問題意識であります。

日本の先生たちは働き過ぎている。

1週間の学内総勤務時間(小学校・教諭)



《小学校》
自宅残業(平均で週約5時間)
を含むと
約6割(57.8%)が
過労死ライン

※「教諭」について、平成28年度調査では、主幹教諭・指導教諭を含む。

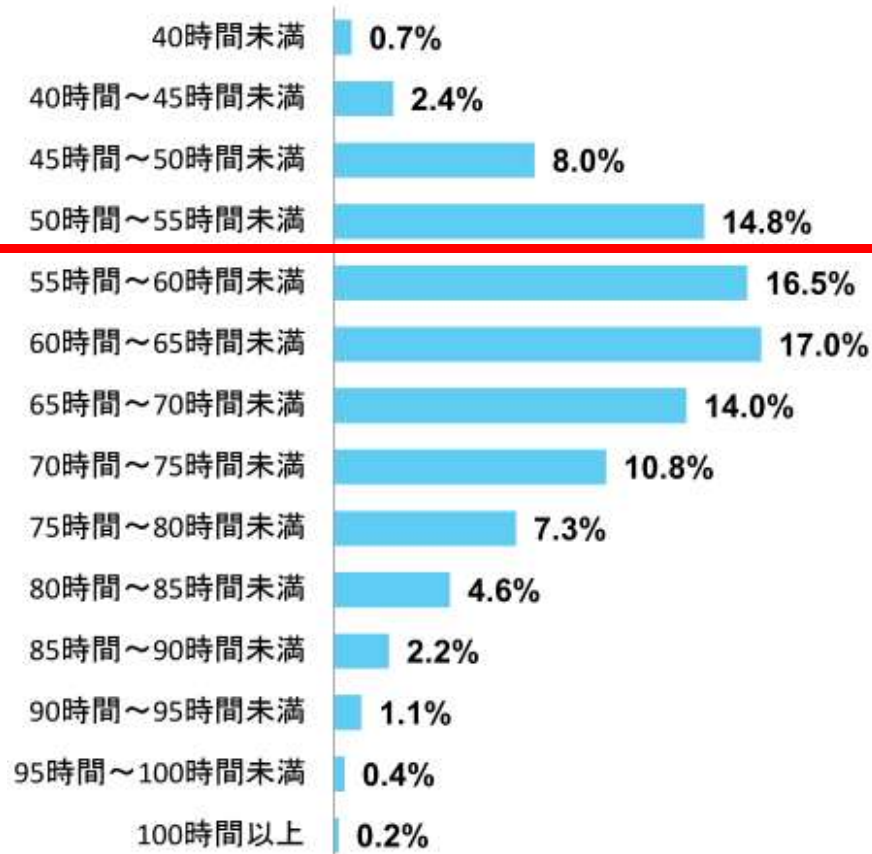
※1週間当たりの正規の勤務時間は38時間45分。

※上記グラフは、勤務時間から本調査の回答時間(小学校64分、中学校66分)を

文科省「教員勤務実態調査」(2016年実施)

日本の先生たちは働き過ぎている。

1週間の学内総勤務時間(中学校・教諭)



《中学校》

自宅残業(平均で週約5時間)
を含むと

4人に3人(74.1%)が
過労死ライン

産業別1週間の労働時間の分布

他業界と比べても、**学校の長時間過密労働は異常**

	週60時間(≡過労死ライン) 以上働いている割合	週80時間(≡月残業160時間) 以上働いている割合
建設業	13.1%	1.5%
製造業	8.3%	0.7%
情報通信業	10.2%	1.2%
飲食店	28.4%	5.2%
医療業	7.5%	1.2%
国家公務	8.7%	2.2%
小学校教諭	57.8%	2.7%
中学校教諭	74.1%	15.8%

小中学校以外は「労働力調査(2016年度)」、小中学校は「教員勤務実態調査(2016年実施)」をもとに作成
※週35時間以上勤務の人のみを集計対象

ある中学校の記録。200時間近い残業の人も(≒平日8時間、土日3時間の残業)。

名古屋市立 A 中学校 2014 年度月別勤務時間外在校時間記録 (分単位は切り捨て)

	職・所属	分掌教科	部活	2014												2015			合計	月平均
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1	校長			112	99	57	70	18	63	62	58	55	59	60	71	784	65			
2	教頭			187	137	116	117	56	110	85	89	85	93	99	132	1306	109			
3	主幹教諭	社		134	93	64	79	26	83	94	77	75	73	80	92	970	81			
4	教務 2	体		149	108	112	92	27	102	133	84	96	95	106	118	1222	102			
5	校務 2	国	ソフトテニス	180	148	142	147	100	156	143	110	140	106	107	152	1631	136			
6	1-A	社	バレーボール	152	125	139	108	49	142	165	123	120	96	147	99	1465	122			
7	1-B	体	剣道	37	17	21	27	1	23	22	15	65	22	62	41	353	29			
8		理 講師	書芸	54	61	64	73	6	80	53	35	45	55	47	31	604	50			
9	1-C	英		58	39	52	40	1	37	48	42	43	27	45	35	467	39			
10	1-D	国	バスケ 男子	223	185	172	175	17	181	189	128	106	131	145	87	1739	145			
11	1-E	英	卓球女子	110	91	97	104	8	111	127	92	75	71	92	83	1061	88			
12	主	技(転)	ソフトテニス	122	147	141	154	59	153	148	107	115	89	101	118	1454	121			
13	1-JK	特別支援	バスケ 男子	147	127	128	136	14	137	112	103	105	91	119	107	1326	111			
14	2-A	体	ハンドボール	160	133	101	114	52	144	115	111	126	92	108	139	1395	116			
15	2-B	社(転)	バレーボール	100	131	135	100	46	115	143	110	105	79	123	107	1294	108			
16	2-C	数	書芸	119	93	109	83	11	87	90	82	46	60	99	57	936	78			
17	2-D	音 講師	バレーボール	196	179	178	150	63	169	235	179	152	147	192	142	1982	165			
18	2-E	理		39	38	33	32	1	29	33	30	21	26	32	24	338	28			
19		英		37	45	50	52	2	32	34	31	31	39	44	37	434	36			
20	主	理		46	42	35	37	3	34	42	27	24	29	40	31	390	33			
21	生指	体	バスケ 女子	118	92	104	73	59	116	81	102	94	71	74	107	1091	91			
22	2-JK	特別支援		34	24	25	23	3	16	20	15	14	15	21	19	229	19			
23	養護	講師		47	44	42	33	4	35	30	20	14	14	28	37	348	29			
24	3-A	英 講師	ハンドボール	150	139	97	136	40	161	178	132	96	110	134	80	1453	121			
25		理(転)	ソフトテニス	157	195	141	175	71	183	201	161	167	127	186	127	1891	158			
26	3-B	社	サッカー(男)	182	198	109	138	27	147	147	129	109	120	141	106	1553	129			
27	3-C	国	ソフトテニス	205	221	171	180	65	198	237	174	146	130	163	137	2027	169			
28	3-D	美	卓球女子	146	153	106	140	14	126	145	111	104	103	130	79	1357	113			
29	3-E	数	バレーボール	178	158	130	112	48	160	188	130	138	117	182	104	1645	137			
30	主	数	サッカー(男)	171	170	112	127	16	135	152	129	122	126	154	103	1517	126			
31		家		42	50	23	18	0	21	22	15	15	22	22	13	263	22			
32	3-JK	特支講師	剣道	124	131	86	84	32	107	104	96	114	60	116	79	1133	94			
33	養護			45	33	25	22	55	29	33	21	13	16	21	32	345	29			
34	事務			89	53	59	59	10	41	29	50	42	47	54	90	623	52			
35	(6月復帰)					5	4	0	18	13	17	24	18	6	11	116	12			
平均の時間外在校時間(分単位切り捨て)				119	109	90	92	29	99	104	84	82	74	94	81	36742	平均 90 時間			

あなたの職場でいつも21時過ぎまで残っている
佐藤先生。彼はこう言っています。

「提出物へのコメント書きや学級通信、部活動指導など、
すべて子どもたちのことを思ってやっていることです。
負担感、多忙感はありません。わたしのことは心配あり
ませんから、放っておいてください。」

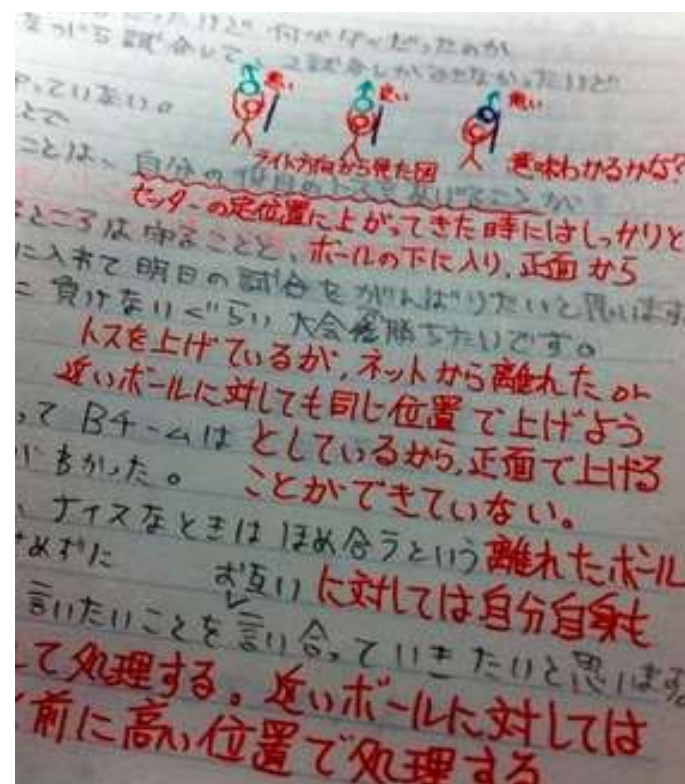
あなたが校長、教頭だったとしたら、どうしますか？

()教師の過労死

2011年6月6日(月)午前1時頃、堺市立中学校に勤務する26歳の教師、前田大仁さんが1人暮らしの自宅アパートで突然亡くなりました。虚血性心疾患でした。前田先生は「熱血先生」と慕われ、市教育委員会の教員募集ポスターのモデルにもなったこともありました。

前田先生は2年目で、2年1組のクラス担任ならびに経験のないバレー部の顧問を務めていました。理科の教科担当としてプリント等を作成するなど熱心に授業準備を行うとともに、学級通信をほぼ毎週発行するなど、教育に情熱をもってあたっていました。部活動では、部員が記入する個人別のクラブノートに励ましや助言をびっしりコメントしていました。

発症前6か月間の時間外勤務は月60～70時間前後と過労死認定基準に満たない時間しか認められませんでした。が、「相当程度の自宅作業を行っていたことが推認される」として、地方公務員災害補償基金は2014年に公務上の過労死として認定しました。



細る自己研鑽、自己投資

「長時間労働のもたらしている最大の弊害とは、()の機会喪失である」
(玄田有史東大教授、『働く過剰』)

- 連合総研の2015年の調査 教員の1日の読書時間は15～30分程度。
 - 小学校教員が新聞を読んだり、読書したりする時間(平日の1日)は、**24.7分**
中学校教員 **23.1分** 高校教員 **33.6分**
出所: ベネッセ教育研究所「学習指導基本調査」2016年実施
- ※ちなみに、NHKが2015年に実施した国民生活時間調査によると、
勤め人の1日(平日)の新聞を読む時間は10分、
雑誌・マンガ・本を読む時間は9分なので、合計約19分。
- ある市の2016年度実施の教員向け**ストレスチェック調査**によると、小学校の61.5%、
中学校の58.8%が「いつもひどく疲れた」、「しばしばひどく疲れた」と回答し、
小学校の50.2%、中学校の47.1%が「いつもヘトヘトだ」、「しばしばヘトヘトだ」と回答。



キーワードを入力



あなたのコメント

購読一覧



トップ

速報

写真

映像

雑誌

個人

特集

意識調査

ランキング

新着記事一覧

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT・科学

ライフ

オーサー一覧

小学生に学校の長時間労働の問題、働き方改革の必要性を語ってみた



妹尾昌俊 | 教育研究者、学校業務改善アドバイザー、中教審委員

2/12(月) 21:08



ツイート



シェア



ブックマーク



さあ未来へ。
Audiのセーフティとともに。




アウトバーン試乗と最先端の工場見学
Audiの先進を体感するドイツ旅行プレゼント

妹尾昌俊の書籍情報



「先生が忙しすぎる」をあきらめない半徑3mからの本気の学校改善

著者：妹尾昌俊

学校のリアルを知る、働き方改革に必携の書

[この本をさがす](#)



わたし い けん
私の意見

がっこう ぎょうむ かいぜん
学校の業務改善にくわしい

きょういくけんきゅうか せの おまさとし
教育研究家、妹尾昌俊さん

きょうりよく へ せんせい しごと
協力して減らそう先生の仕事

せんせい
先生のなかには、まいあさ じ
毎朝7時
だい き よる じ じ
台に来て、夜9時、10時まで
がんば ひと
頑張る人もいます。みなさん
じ どう いっしょうけんめい
児童のために一生懸命なのは
いいことですが、からだ
体をこわし
てしまうこともあります。

ところで、みなさんはひ
日ご
ろどんなふう**に勉強**していま
すか？ ほん よ ひとり
本を読んだり人から

はなし き
話を聞いたりしていますね。
おとな おな いそが
大人もそれは同じですが、忙
しいせんせい べんきょう じ かん
しい先生のなかには勉強時間
がなかなか取れない人もいま
す。せんせい べん
先生だからといって、勉
きょう
強しないでいいわけではない
のです。しゃかい かがく ひ びしん
社会や科学は日々進
歩している**ので**、せんせい
先生たちも
まな つづ
学び続けています。

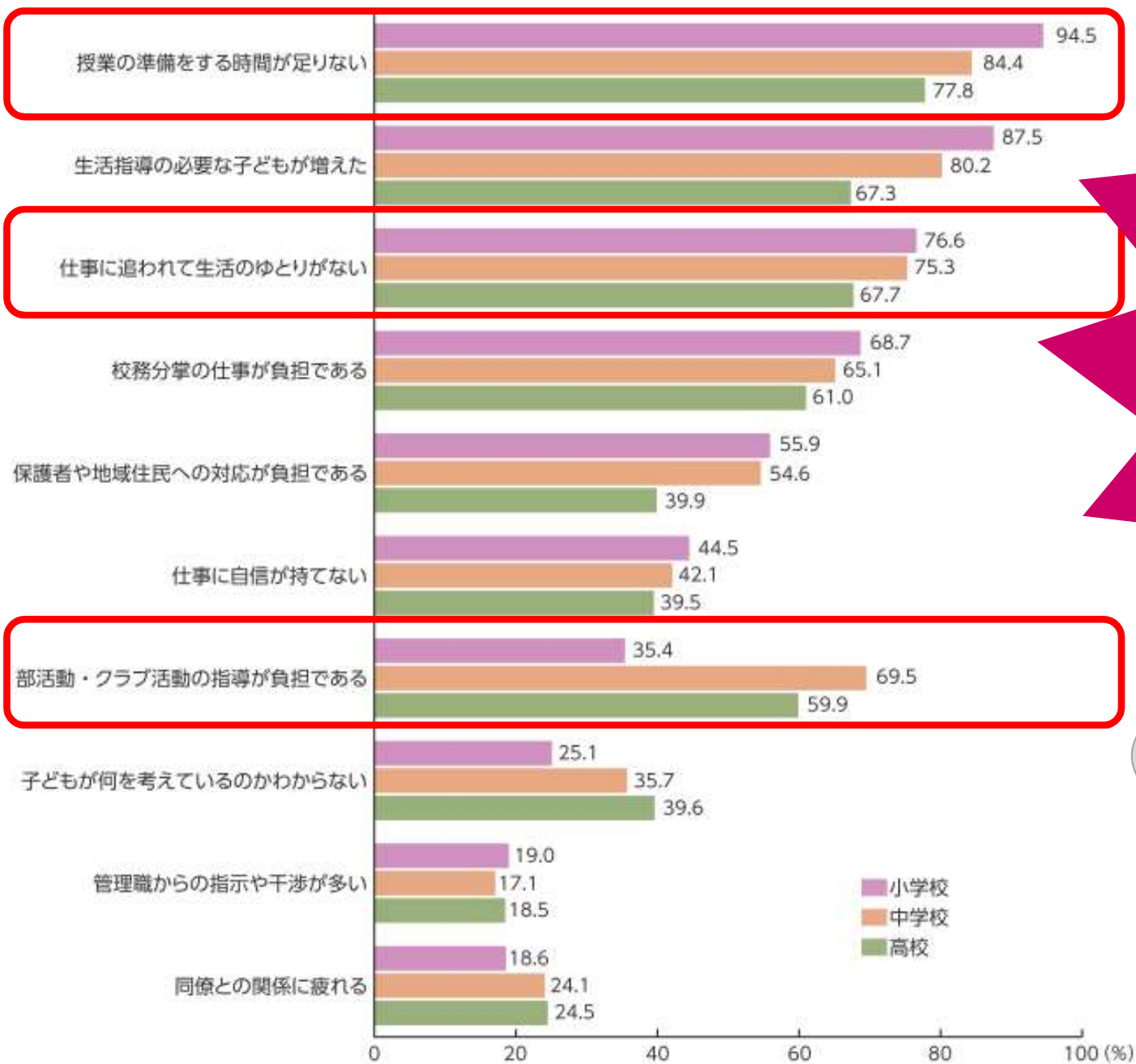
日本のせんせい がいこく くら
先生の外国と比べて
も、1人でたくさんの種類の
しごと しゅるい
仕事をしています。授業はも
ちろん、そつぎょうしき ぎょうじ じゅん
卒業式など行事の準備
び しゅくだい かくにん かに れん
や宿題の確認、家庭への連
らく そうだん きゅうしょくひ かね
絡や相談、給食費などのお金
をあつか かいけい う あ
を扱う会計、打ち合わせ……。

せんせい はや かえ
先生が早く帰られるように
するには、どうしたらいいで
しょうか？ せんせい か しゅくだい
先生が書く宿題
のコメントをかんたん
簡単にしたり、
ほ ごしゅ よる がっこう でんわ
保護者が夜に学校に電話をか
けるのをやめたりすることも
ひつよう
必要かもしれないですね。

愛知教育大学等「教員の仕事と意識に関する調査」(2015年実施)

Q あなたは、次のような悩みや不満をどれくらい感じていますか。

図4-2 教員の仕事の悩み・不満



一番の悩みは
授業準備不足。
生活のゆとりも
ない。

こんな状態で
新学習指導要領のめざす
質の高い教育は
できるのか？

小学校1,482人、中学校1,753人、
高等学校2,138人の教員が回答。

長時間労働の影響、少なくとも6点

1. 心身ともに**疲れる、病気になる。倒れる。**
 - ✓ バーンアウトやうつ、過労死、自殺に発展するケースも。
2. 個人レベルでは、**授業準備や()の時間が減る。**
組織レベルでも**()が減る。**
 - ✓ 教職員個人にとっては、読書や趣味、好きなことを追求する時間などが減ること
で、広い意味での自己研鑽が犠牲となってしまう。
 - ✓ 学校という組織、チーム単位で捉えても、個業が増え、組織的な改善や学習が進
みにくなる。その結果、さらに多忙化が進む悪循環にもなりかねない。
3. 仕事の能率も下がり、**ミス**が起きやすくなる。子どもに接するときも丁寧にできない、
ちょっとしたサインを**見逃してしまう**。⇒ ミスや問題の火消しのためさらに多忙に。
4. 長時間労働を厭わない、**熱血教師だけが働ける職場**となる。
 - ✓ 団塊世代が後期高齢者 ⇒ 介護、育児、病気を抱えながら仕事をするが普通に。
5. 「ともかく長く働けばよい」と**生産性やワークライフバランスを軽視することが子どもへ
影響**する。(=隠れたカリキュラムのひとつ)
6. 教員の仕事が**不人気**に。採用倍率低下ともあいまって質低下。

<働き方改革の意味は？>

あなたにとって、学校の“働き方改革”、
あるいは長時間労働の削減とは何ですか？
なんのためですか？



<どうする？>

教育委員会には何ができるだろうか？

◎教員の手から離せるものは**離そう**。

教師業務アシスタントの活躍と事務職員によるコーディネートと仕組化
(岡山県美咲町立加美小学校)

■アシスタントの仕事

- **印刷作業** (授業しているあいだに翌日のプリントが！)
 - 教材や機材等の準備
 - **学校徴収金の集金・支払い業務**
(担任は集金袋を回収→学級にアシスタントが取りに来るので渡す
→アシスタントが金額等チェック→入金・支払い手続きを行う
→決算書類も作成する ※もちろんチェック体制や決裁は必要)
 - 各種配布物の**グラフ等作成、名簿作成**
(教頭が助かっている)
 - 学習支援の一部(例:九九の暗唱を聞いてあげる)
- ★今後は採点・添削などにも拡大することを検討中

◎教員の手から離せるものは離そう。

中教審 学校における働き方改革 中間まとめ

基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
<p>①登下校に関する対応</p> <p>②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応</p> <p>③学校徴収金の徴収・管理</p> <p>④地域ボランティアとの連絡調整</p> <p>※ その業務の内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。</p>	<p>⑤調査・統計等への回答等 (事務職員等)</p> <p>⑥児童生徒の休み時間における対応 (輪番、地域ボランティア等)</p> <p>⑦校内清掃 (輪番、地域ボランティア等)</p> <p>⑧部活動(部活動指導員等)</p> <p>部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。</p>	<p>⑨給食時の対応 (学級担任と栄養教諭等との連携等)</p> <p>⑩授業準備 (補助的業務へのサポートスタッフの参画等)</p> <p>⑪学習評価や成績処理 (補助的業務へのサポートスタッフの参画等)</p> <p>⑫学校行事の準備・運営 (事務職員等との連携、一部外部委託等)</p> <p>⑬進路指導 (事務職員や外部人材との連携・協力等)</p> <p>⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応 (専門スタッフとの連携・協力等)</p>

◎「教育効果があるから」ですぐゴーサインを出してよいのか？

★こんな話、職員室で、あるいは保護者から、議員から
ありませんか？

- えっ！？〇〇を今年からやめるんですか？
そんな一、楽しみにしている児童・生徒がかわいそうですよ。
- △△の縮小には反対です。やらないより、やったほうが
ゼツタイよいと思います。

◎多忙の内訳を見よ：何に時間を使っているのか？

小学校教諭の平日1日

	週60時間以上		週60時間未満		時間差 (分)
	従事時間 (分)	比重	従事時間 (分)	比重	
授業	268	36.5%	264	42.3%	4
授業準備	99	13.5%	66	10.6%	33
学習指導（補習・個別指導等）	16	2.2%	14	2.2%	2
朝の業務	37	5.0%	35	5.6%	2
成績処理、試験の作成・採点、提出物確認等	41	5.6%	29	4.6%	12
学校行事、生徒会・児童会	38	5.2%	24	3.8%	14
給食、掃除、登下校、休み時間等の指導	65	8.8%	58	9.3%	7
個別の生徒指導、進路指導、カウンセリング	5	0.7%	5	0.8%	0
部活動・クラブ活動	9	1.2%	5	0.8%	4
学年・学級経営（学活、連絡帳、学級通信等）	29	3.9%	21	3.4%	8
学校経営、校務分掌業務等	26	3.5%	20	3.2%	6
会議、打ち合わせ	34	4.6%	26	4.2%	8
事務	20	2.7%	15	2.4%	5
研修	27	3.7%	26	4.2%	1
保護者・地域対応	9	1.2%	6	1.0%	3
その他	12	1.6%	10	1.6%	2
合計	735	100.0%	624	100.0%	111

出所) 中央教育審議会の事務局資料 (2017年10月20日) を加工・編集のうえ作成

◎多忙の内訳を見よ：何に時間を使っているのか？

中学校教諭の平日1日

	週60時間以上		週60時間未満		時間差 (分)
	従事時間 (分)	比重	従事時間 (分)	比重	
授業	207	28.4%	205	33.4%	2
授業準備	93	12.8%	78	12.7%	15
学習指導（補習・個別指導等）	10	1.4%	9	1.5%	1
朝の業務	37	5.1%	36	5.9%	1
成績処理、試験の作成・採点、提出物確認等	43	5.9%	32	5.2%	11
学校行事、生徒会・児童会	40	5.5%	24	3.9%	16
給食、掃除、登下校、休み時間等の指導	65	8.9%	58	9.4%	7
個別の生徒指導、進路指導、カウンセリング	20	2.7%	15	2.4%	5
部活動・クラブ活動	51	7.0%	27	4.4%	24
学年・学級経営（学活、連絡帳、学級通信等）	43	5.9%	30	4.9%	13
学校経営、校務分掌業務等	23	3.2%	19	3.1%	4
会議、打ち合わせ	35	4.8%	30	4.9%	5
事務	21	2.9%	16	2.6%	5
研修	17	2.3%	17	2.8%	0
保護者・地域対応	12	1.6%	7	1.1%	5
その他	11	1.5%	11	1.8%	0
合計	728	100.0%	614	100.0%	114

出所）中央教育審議会の事務局資料（2017年10月20日）を加工・編集のうえ作成

◎部活動改革なくして、働き方改革なし スポーツ庁の運動部活動のガイドラインが出ました！

- 週当たり**2日以上**の**休養日**を設けること(平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上を休養日)。
- 1日の活動時間は、長くとも**平日では2時間程度**、**学校の休業日は3時間程度**とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行うこと。
- より多くの生徒の運動機会の創出が図られるよう、季節ごとに異なるスポーツを行う活動、競技志向でなく友達と楽しみながらレクリエーション志向で行う活動なども検討すること。
- 大会について、中体連(日本中学校体育連盟や都道府県中学校体育連盟)等は、複数校合同チームの参加、学校と連携した地域スポーツクラブの参加などの**参加資格の在り方**、**大会の規模もしくは日程等の在り方等の見直し**を行うこと。

The image shows a screenshot of a Yahoo! News article. At the top, it says 'YAHOO! JAPAN ニュース' and 'senoom879'. Below that is a search bar and navigation tabs for 'トップ', '速報', '写真', '映像', '雑誌', '個人', '特集', '意識調査'. The article title is '国の部活動ガイドライン、練習規制はスポ根への挑戦状 ～関係者が今から準備すべきこと～'. The author is '妹尾昌俊 | 教育研究者、学校業務改善アドバイザー、中教審委員' and the date is '2/25(日) 14:00'. There are social media sharing buttons for Twitter, Facebook, and a bookmark icon. The main content is a document titled '運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン (案)' with a section '前文' that discusses the role of school sports activities and the importance of supporting national sports promotion.

過度な練習は、生徒の怪我・バーンアウトを誘発

～さようなら スポ根 こんにちは スポーツ医科学～

なぜ、もっと練習したいという生徒(+教師)がいるのに、規制をかけるのか？

1. スポーツへの参加時間が長ければ長いほど、けがや障害になる確率は高くなることが、実証されている。
 - 週16時間以上の場合、ないし“年齢×1時間”より多い場合は、けがの発生率が高いとの研究が複数ある(スポーツ庁の検討会議、2017年12月18日での報告)。ちなみに、これは体育の時間なども含めての時間。
2. 「長くやればやるほどうまくなる」という信仰は教員にも、生徒にも、保護者にも強いが、それはスポーツ科学の知見からは否定されている。
3. 子どもの学習時間や友達や家族との時間、自由な時間などをもっと認めていく必要がある。
 - 静岡市のガイドライン: Study、Sports、Societyの3つのバランスをもっと取っていきましょうというコンセプト
4. ハードな練習では参加しづらい生徒や途中でやめる生徒もいる。そういう子にとってもスポーツに親しめる機会をつくる価値も重視していく必要がある。
 - ただし、これを学校教育でどこまで行うかは要検討。体育の時間の充実が先決か？
5. 顧問の教職員の負担の問題。部活以外の時間も大切だよねという話は、教師にも当てはまる。

◎保護者等の理解を広げるためには

1. 保護者のほとんどは、学校の現実を知らない。
 - 教員の勤務時間を知っているか？
2. 困り感や悩みを学校側が打ち明けてくれなければ、協力・連携しようもない。
 - PTA役員会議等で校長・副校長らも参加しよう。
 - コミュニティ・スクールは会議を増やすだけにしてはいけない。相談できる場、応援団を増やす場に。
3. カットや効率化だけでは納得感は得られにくい。
力を入れることとセットで。

◎あなたはどのようにしていきたいですか？

学校の長時間労働の問題についてどんなことに
取り組みたいですか？

気軽にコンタクトください
ご意見、講演・研修依頼、読書会なども歓迎です～

妹尾 昌俊

学校マネジメントコンサルタント

senoom879@gmail.com

★Facebook Twitter 実名

★Yahoo! 個人

★ブログ: 妹尾昌俊アイデアノート

<http://senoom.hateblo.jp>

★書評サイト Books for Teachers

<http://bookfort.hatenablog.com/>

★オンラインゼミ(交流サロン)

元気な学校づくりゼミ
(Facebookグループ)

YAHOO! ニュース JAPAN senoom879 0ポイント
1日限りのお得な目玉商品をご案内

検索
あなたのコメント 購読一覧

トップ 速報 写真 映像 雑誌 個人 特集 意識調査 ランキング

新着記事一覧 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT・科学 ライフ オーサー一覧

日本中の先生たち
Be Happy!

妹尾昌俊
Masatoshi Senoo

妹尾昌俊
senoom879
教育研究家、学校業務改善アドバイザー、中教審委員

official site
妹尾昌俊アイデアノート～ステキな学校、地域、そして人たち

徳島県出身。野村総合研究所を経て2016年から独立し、全国各地で学校、教育委員会向けの研修・講演などを手がけている。学校業務改善アドバイザー（文科省、埼玉県、横浜市等より委嘱）、中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員、スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議」委員、NPO法人まちと学校のみらい理事。主な著書に『変わる学校、変わらない学校』、『思いのない学校、思いだけの学校、思いを実現する学校』、『「先生が忙しすぎる」をあきらめない』。4人の子育て中。

記事 13 オーサーコメント 2

記事一覧 1～13/13件 年月で絞り込む

4月から学校の先生になるみなさんへ (その1: つぶされないために)
新人、新任の教師(先生)であっても、4月からいきなり教壇にたつし、学級担任をもつ人も多い。指導教員や校長からつぶされてしまう新人もいる。どうすればよいか。具体的な行動を提案する。
3/31(土) 11:47

卒業式マジックに気をつける
卒業式は教師にとっても、1年で最も感慨深い1日だ。その感動ゆえに、この1年はよかったと肯定してしまい、反省点が忘れられてしまう、そんな“卒業式マジック”に気をつける。
3/18(日) 20:46